

# 令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	090301 施設維持管理事業		新規/継続
政策名	04 健康で幸せにすごせるまち		継続
施策名	09 障害者福祉の推進		
基本事業名	03 障害児への療育支援		
所管課係名	障害福祉課 わかくさ学園指導係	所管課長名	森田 吉輝

## 事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <b>終期</b> ・児童福祉法 ・東久留米市児童発達支援センター条例 ・東久留米市児童発達支援センター条例施行規則 ・東久留米市第2期障害児福祉計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業 <input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し	
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当	<input type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当	
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( )		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input checked="" type="checkbox"/> その他(三鷹市・立川市・国分寺市・東大和市等) )		
その他	実行プラン <input type="checkbox"/> 対象	外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当

## 事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	児童発達支援センターわかくさ学園
事業内容・活動手段	機械設備等の保守点検及び故障箇所等の修繕。ガラス・床、排水管、カーテン等のクリーニング。植栽の剪定及び消毒。清掃委託等。
目的・意図	障害児を対象とした療育他サービスを安定して提供するため、安全かつ衛生的な施設環境の維持を図る。

## 活動指標(手段の数値指標化)

指標名	修繕及び保守点検	単位	回
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	71	71	60

## 成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	修繕及び保守点検により安全衛生面を確保できた割合	単位	%
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	100
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	100	100	100
実績値	100	100	100

## 事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)① (千円)		6,071	13,822	6,920
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	2,383
		その他	0	0
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		6,071	11,439	6,527
人件費(理論値)② (千円)		4,098	4,345	4,487
トータルコスト①+② (千円)		10,169	18,167	11,407
単位当たりコスト (円)		143,225	255,873	190,117
目標達成率 (%)		100	100	100

## 評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
令和2年度は都より「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業」の補助を受け、感染拡大防止に努めた。新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言の発令により、4~6月期は登園自粛等の影響から活動指標が例年より減っている。最大限の感染予防に配慮し、室内の換気機能の向上等の設備点検及び清掃などを行っている。設立10年を過ぎての経年劣化による不具合等修理を必要とする箇所はその都度、修繕を行い、大きな修繕にならないよう日常的に保守点検に努めていく。委託業者については入札等で経費の軽減につなげており、業務フローの改善、制度改正の余地はない。				施設維持管理に關しての日常の安全管理、衛生管理については職員が可能な限りおこない、さらに新型コロナウイルス感染予防として施設内の換気、衛生管理、清掃、消毒等も以前より細かく注意、配慮し日常的におこなってきた。今後も収束まで感染防止のため継続していく。平成31年度に室内空調設備の機器内の清掃を委託で行うことができ、令和2年度も継続しおこなうことができた。空調・換気設備については効率的な稼働のための点検が今後も必要である。施設内設備を長期にわたり使用できるように維持管理していく意識をもち、経費の節減節約に努めていく。	
効率性	5	達成度	3		
説明					
令和2年4月児童発達支援センターの開設を迎えたが、世界的なコロナ禍の影響により、感染拡大の動向に注意しながら、事業をスタートしたが、日常的事業が回復し、様々な感染防止にかかわる整備が必要となる。日常的な衛生面での細かなとりくみの中で効率的に行っている。平成31年度に児童発達支援センター開設に向けた改修等を行ったことから、令和2年度は事業費が減り、効率性が5となっている。					

# 令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	090302 給食事業		新規/継続
政策名	04 健康で幸せにすごせるまち		継続
施策名	09 障害者福祉の推進		
基本事業名	03 障害児への療育支援		
所管課係名	障害福祉課 わかくさ学園指導係	所管課長名	森田 吉輝

## 事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <b>終期</b> ・児童福祉法 ・東久留米市児童発達支援センター条例 ・東久留米市児童発達支援センター条例施行規則 ・東久留米市第2期障害児福祉計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( )		
近隣市状況	<input type="checkbox"/> 小平市 <input type="checkbox"/> 東村山市 <input type="checkbox"/> 清瀬市 <input type="checkbox"/> 西東京市 <input checked="" type="checkbox"/> その他(三鷹市・立川市・東大和市等) )		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

## 事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	わかかくさ学園利用契約園児
事業内容・活動手段	各園児の発達・障害特性(代謝異常、アレルギー、摂食機能等)に応じた食事を給食として調理・提供する。
目的・意図	摂食機能の向上、食の経験を通して、正しい食習慣や豊かな食文化の獲得により、発達の土台となる健康な体づくりを促す。

## 活動指標(手段の数値指標化)

指標名	提供した食数	単位	食
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	6,446	6,497	5,622

## 成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	アレルギー対応及び摂食機能に応じた食事提供ができた割合	単位	%
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	100
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	100	100	100
実績値	100	100	100

## 事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)① (千円)		3,558	4,111	4,032
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	1,289	5,604
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
	一般財源	2,269	△1,493	△2,283
人件費(理論値)② (千円)		7,376	7,821	7,178
トータルコスト①+② (千円)		10,934	11,932	11,210
単位当たりコスト (円)		1,696	1,837	1,994
目標達成率 (%)		100	100	100

## 評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
園児や摂食機能に課題のある園児に対し、個々に合わせた必要な食事及び食形態を提供している。財源の一部として利用者負担金より食材料費・給食費を1日200円分徴収している。障害児サービス事業所として報酬を得ているため、一般財源マイナス表示分については職員人件費に充てる。				給食サービスは療育を展開するうえで、子どもの成長発達を前提としてとても重要な支援となっている。偏食が激しいなど食に関しての家庭でも悩みも多く、給食提供により子どもの健康や成長が守られている側面もある。現在のコロナウイルス感染防止を継続し、調理・衛生管理について注意しつつ、食事時間の介助についての配慮等、継続して取り組んでいく。	
効率性	3	達成度	3		
説明					
正規職員栄養士は献立作成から、発注、調理、支払伝票処理をおこなう。さらに栄養相談、摂食機能相談等給食にかかわる業務から発展し、アウトリーチも含む家庭へ背景的な生活への支援を展開し効果をあげていく。特定財源の増加について給食材料費と介護給付費から按分し充当し一般財源はマイナス表示となる。					

# 令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	090303 通園バス運行事業		新規/継続
政策名	04 健康で幸せにすごせるまち		継続
施策名	09 障害者福祉の推進		
基本事業名	03 障害児への療育支援		
所管課係名	障害福祉課 わかくさ学園指導係	所管課長名	森田 吉輝

## 事業の概要

根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 終期		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金		
近隣市状況	<input type="checkbox"/> 小平市 <input type="checkbox"/> 東村山市 <input type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当

## 事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	利用契約障害児
事業内容・活動手段	日常登降園のため、29人乗りと15人乗りの送迎バスを運行する。運転業務は事業者へ委託し、職員2~3名が添乗する。日常のバス運行時間は朝、帰りとも約1時間。
目的・意図	家族による送迎が困難なケースが多く、毎日の療育が安全かつ円滑に受けられるように通園手段を保障する。

## 活動指標(手段の数値指標化)

指標名	延べバス利用人数	単位	人
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	12,196	11,890	9,459

## 成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	バスの運行による通園保障率	単位	%
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	100
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	100	100	100
実績値	100	100	100

## 事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		8,800	9,588	9,767
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	0	0
		その他	7,828	19,778
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
	一般財源	972	△10,190	△7,671
人件費(理論値)②(千円)		0	0	0
トータルコスト①+②(千円)		8,800	9,588	9,767
単位当たりコスト(円)		722	806	1,033
目標達成率(%)		100	100	100

## 評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
国保連からの介護給付費負担金と保護者負担金からの歳入により、一般財源はマイナス表示となるが、マイナス表示分は、職員人件費に充当となる。園児の安定的な登降園が確保され、送迎に困難をもつ利用者にとって必要不可欠なものである。				新型コロナウイルス感染症の感染防止に最大限努め、今後も登降園が困難な園児に対し、療育サービスの安定した提供のため、日常的な送迎バスの利用から療育につながる大きな効果をあげていく。近隣市においてもおこなっていることから、その地域性においても送迎サービスは不可欠であり、今後も継続する必要がある。車両管理については、日常運行をしているため点検・整備および修理・交換の日数を確保することは難しく、今後の課題である。	
効率性	1	達成度	3		
説明					
令和2年度4月より児童発達支援センターへと移行し、国保連からの介護給付費が約1.2倍以上となり、特定財源が増加している。バスの利用状況は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で昨年度当初は自粛される利用者もいたが、必要な家庭については不可欠な事業であり休止することなく運行した。車両自体は、日々の運行で経年により、修繕等が増えてくることが予測される。利用人数が減ったことにより、効率性が1となった。					

# 令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	090304 児童発達支援事業		新規/継続
政策名	04 健康で幸せにすごせるまち		継続
施策名	09 障害者福祉の推進		
基本事業名	03 障害児への療育支援		
所管課係名	障害福祉課 わかくさ学園指導係	所管課長名	森田 吉輝

## 事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <b>終期</b> ・児童福祉法 ・東久留米市児童発達支援センター条例 ・東久留米市児童発達支援センター条例施行規則 ・東久留米市第1期障害児福祉計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止予定の有無 <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( )		
近隣市状況	<input checked="" type="checkbox"/> 小平市 <input checked="" type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input checked="" type="checkbox"/> その他(三鷹市・立川市・東大和市・武蔵村山市等) )		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 外部評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象	平成23年度	<input type="checkbox"/> 内部管理事業等 <input type="checkbox"/> 該当

## 事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	利用契約障害児
事業内容・活動手段	身体障害児、知的障害児及び発達障害児の混合の11~12名のグループを中心とした集団療育により訓練・指導を行う。また、保護者指導及び援助のなかで、家庭と連携・協力関係を高め、家庭環境への支援も行うことにより、子どもをとりまく環境から全面的な発達を促す。
目的・意図	発達に課題のある児童に対して、健全な発育・発達を促し、社会生活における自立を促す。また、様々な悩み、不安を抱えた保護者に対して、面談、保護者会等で助言・指導・援助をおこない子育てを支援する。

## 活動指標(手段の数値指標化)

指標名	利用者数	単位	名
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	35	35	32

## 成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	延べ出席人数	単位	人
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	6,000
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	6,500	6,500	5,900
実績値	6,727	6,847	6,017

## 事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)①(千円)		20,814	19,597	27,010
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	265
		都	0	1,749
		その他	29,113	29,917
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		△8,299	△10,320	△19,631
人件費(理論値)②(千円)		81,382	76,732	84,891
トータルコスト①+②(千円)		102,196	96,329	111,901
単位当たりコスト(円)		2,919,886	2,752,257	3,496,906
目標達成率(%)		103	105	102

## 評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
令和2年度児童発達支援センター化によって国保連からの介護給付費負担金は倍増している。国保連からの介護給付費負担金と保護者負担金からの歳入により、一般財源はマイナス表示となるが、マイナス表示分は、職員人件費に充当となる。業務フローとしての改善は必要はなく、児童発達支援センター化に伴い、ますます地域での中核的な役割を担う障害児の療育支援施設として広く障害児に対する支援を行っていく。				新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言の中、障害児及びその家庭に必要な事業として休園することなく、最大限感染防止に配慮しながら、事業を運営してきた。児童発達支援センターとなり、歳入が増加する中、さらに障害児支援の実績を重ね、利用者、市民から信頼されるセンターとして役割を果たし、効率的に効果的にサービスを行っていく。障害や発達に対する問題だけでなく、家庭的背景や保護者への子育て全般への支援が必要不可欠であり、今後も他課や他関係機関との連携が必要である。	
効率性	1	達成度	3		
説明					
令和2年度児童発達支援センター化にともない、施設基準から平成31年度までの定員35名が令和2年度より32名となっている。同時に令和2年度は緊急事態宣言の発令等で登園自粛があったことも重なり、成果指標の減少がみられるが、福祉施設として運営を休むことなく、必要なサービスを提供し続けた。					



# 令和3年度事務事業評価表(令和2年度振り返り)

事務事業名	090305 発達相談事業		新規/継続
政策名	04 健康で幸せにすごせるまち		継続
施策名	09 障害者福祉の推進		
基本事業名	03 障害児への療育支援		
所管課係名	障害福祉課 わかくさ学園指導係	所管課長名	森田 吉輝

## 事業の概要

根拠法令等	<input type="checkbox"/> 自主的(条例・規則等) <input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法律・政令等) <input type="checkbox"/> 努力義務的(法律・政令等) <b>終期</b> ・児童福祉法 ・東久留米市児童発達支援センター条例 ・東久留米市児童発達支援センター条例施行規則 ・東久留米市第1期障害児福祉計画		
補助事業	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 行政補完的 <input type="checkbox"/> 政策的	給付事業	<input type="checkbox"/> 該当
市独自上乗せ	<input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 上乗せ <input type="checkbox"/> 横出し		
特定財源	<input type="checkbox"/> 該当 <b>廃止予定の有無</b> <input type="checkbox"/> 該当		
事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他( )		
近隣市状況	<input type="checkbox"/> 小平市 <input type="checkbox"/> 東村山市 <input checked="" type="checkbox"/> 清瀬市 <input checked="" type="checkbox"/> 西東京市 <input checked="" type="checkbox"/> その他(三鷹市・立川市・国分寺市・東大和市等) )		
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行プラン <input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 外部評価 <input type="checkbox"/> 対象	内部管理事業等	<input type="checkbox"/> 該当

## 事務事業の目的(事務事業の対象、手段、意図)

対象	市内在住の成長・発達に遅れのある児童
事業内容・活動手段	正規職員2名及び再任用1名を専属として配置し、児童福祉法における障害児サービス支給にかかる計画相談、障害者総合支援法における障害福祉サービス支給にかかる計画相談、さらに一般相談をうけていく。また、関係機関との連携や、親子保育、訪問相談等の支援を提供。
目的・意図	児童の発達上の課題、障害を把握し、必要な助言、支援をおこなうとともに、障害児支援サービスの利用計画を立てていく。早期発見にかかわり、必要な療育・訓練等の支援を提供していく。

## 活動指標(手段の数値指標化)

指標名	利用者数	単位	人
実績値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	449	389	366

## 成果指標(意図したことの結果の数値指標化)

指標名	発達相談室事業サービスの利用者の延べ件数	単位	件
指標の種類	増加を目指す指標	現年度目標値	3,500
目標値	平成30年度	平成31年度	令和2年度
	4,800	4,900	3,500
実績値	4,850	3,170	3,725

## 事業費・人件費等

		平成30年度	平成31年度	令和2年度
事業費(実績額)① (千円)		1,340	7,204	3,272
上記「事業費(実績額)」に係る財源	特定財源	国	0	0
		都	619	2,500
		その他	3,022	3,500
	一般財源	特定財源に伴う一般財源	0	0
		一般財源	△2,301	1,204
人件費(理論値)② (千円)		25,488	35,367	34,100
トータルコスト①+② (千円)		26,828	42,571	37,372
単位当たりコスト (円)		59,751	109,437	102,109
目標達成率 (%)		101	65	106

## 評価

業務フローに改善の余地がある	<input type="checkbox"/>	制度改正の余地がある	<input type="checkbox"/>	令和4年度の方向性	現状維持
説明				総合評価(課題・方向性)	
都からの包括補助と計画相談の介護給付費により、一般財源はマイナス表示となり、マイナス表示分は職員人件費への充当となる。令和2年度4月より新規保育所等訪問支援事業の開始、児童発達支援センター化にともなう準備と西部地域センターへの移転があった。新規事業などの開始にともない、国保連からの歳入の増加がみられる。一般相談事業所、指定特定相談事業所としての事業は障害者総合支援法、児童福祉法に基づく事業であり、業務フロー、制度改正についての余地はない。				令和2年4月より児童発達支援センター化し、親子療育事業については西部地域センターにわかくさ学園分室を開設し事業を展開する。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で思うように開設スタートとならなかったが、感染防止に配慮し、事業をおこなってきた。今後も感染防止の取り組みを講じながら、事業をおこなう。他機関との連携も困難な状況ではあるが、やり方を工夫し効果的に業務を進めていく。また保育所等訪問支援事業等は2件10回おこなっているが、職員の整備も含め可能なサービス展開を考えていく。	
効率性	3	達成度	3		
説明					
新型コロナウイルス感染症拡大、緊急事態宣言の中で親子療育、ことばの教室(言語発達相談)、訪問支援等の事業中止の措置をとり、利用者数は減少している。直接支援ができない中、電話等による連絡での支援は定期的におこなった。計画相談支援について利用者は年々増加している。					